

第三者評価結果の公表事項（児童養護施設）

①第三者評価機関名

社会福祉法人 福井県社会福祉協議会

②施設名等

名称：福井市ふれ愛園

種別：児童養護施設

施設長氏名：今村 静代

定員：40人

所在地：福井県

③実施調査日

平成26年7月3日（木）～7月4日（金）

④総評

◇特に評価が高い点

○養育・支援

「いいとこ探しシート」に子どものいいところを伝える方法や気になるところへのチェンジアイデアが記入され、子どもの気持ちを理解するよう努めている。また、個別に入所時より行事等で撮影した写真を個人のアルバムとして整理し、退所時には成長の記録として子どもたちに手渡している。さらに、学習支援では、中学生は希望に応じて通塾している。

○自立支援計画、記録

子どもの状況や意向を把握するために子ども自身が記入する「自分を見つめてみよう」を作成し、施設独自の工夫がなされている。

○権利擁護

行事としてお茶会等を開催して子どもとの交流を深めるとともに、子どもの状況や意向を把握するよう努めている。

○施設運営

発達障害児童への対応に関する職員研修を積極的に実施（受講）し、適切な支援の実施に努めている。

◇改善が求められる点

○養育・支援

虐待を受けた子ども等の保護者からの強引な引取りの可能性がある場合、緊急時の警察機関との協力体制づくりに向けて、日頃から継続した情報交換等の機会を早急に持つことが望ましい。

○権利擁護

子どものプライバシー保護に関する規程・マニュアルの整備を図ることが望まれる。

○事故防止と安全対策

子どもの安全を脅かす事例を組織として収集し、要因分析と対応策の検討を行うとともに、子どもの安全確保のための対策を実施することが望まれる。

○施設運営

実施する養育・支援の内容や職員体制、人材育成等の現状分析を行い、課題や問題点を明らかにし、理念や施設が目指す養育・支援の実現に向けた中・長期計画を策定することが望まれる。また、全ての職員が参画できる体制を整え、定期的な自己評価（年1回以上）、第三者評価（3年ごと）の継続的計画的な取組に期待する。

⑤第三者評価結果に対する施設のコメント

第三者評価を受審し、施設運営や子ども達への支援体制など見直す機会となりました。まず、児童養護施設の基本に立ち戻り、本評価の結果を真摯に受け止め、現状を分析し、関係機関との情報共有・連携強化・マニュアルの整備等に努めるとともに、養育の質の向上を目指し、職員一丸となって取り組んでいきます。

⑥第三者評価結果（別紙）

第三者評価結果（児童養護施設）

1 養育・支援

(1) 養育・支援の基本	第三者 評価結果
① 子どもの存在そのものを認め、子どもが表出する感情や言動をしっかり受け止め、子どもを理解している。	a
② 基本的欲求の充足が、子どもと共に日常生活を構築することを通してなされるよう養育・支援している。	b
③ 子どもの力を信じて見守るという姿勢を大切に、子どもが自ら判断し行動することを保障している。	b
④ 発達段階に応じた学びや遊びの場を保障している。	a
⑤ 秩序ある生活を通して、基本的生活習慣を確立するとともに、社会常識及び社会規範、様々な生活技術が習得できるよう養育・支援している。	b
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>【特に評価が高い点】 「いいところ探しシート」に子どものいいところを伝える方法や気になるところへのチェンジアイデアが記入され、子どもの気持ちを理解するよう努めている。</p> <p>【改善が求められる点】 年齢や発達段階別に、具体的かつ継続的な規範意識の向上に向けた支援方法のマニュアルづくりが望まれる。</p>	
(2) 食生活	第三者 評価結果
① 食事は、団らんの場でもあり、おいしく楽しみながら食事ができるよう工夫している。	a
② 子どもの嗜好や健康状態に配慮した食事を提供している。	a
③ 子どもの発達段階に応じて食習慣を身につけることができるよう食育を推進している。	a
(3) 衣生活	
① 衣服は清潔で、体に合い、季節に合ったものを提供している。	a
② 子どもの衣習慣を習得し、衣服を通じて適切に自己表現できるように支援している。	a
(4) 住生活	
① 居室等施設全体がきれいに整美されている。	a
② 子ども一人一人の居場所が確保され、安全、安心を感じる場所となるようにしている。	b
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>【特に評価が高い点】 献立表は一週間ごとに食堂に掲示されている。また、休日を利用して、小学生にはおやつ作り、高校生には夕食作りの料理教室を通して、買い物から基礎的な料理技術、後始末などを習得できる機会を設けている。さらに、定期的に給食委員会を開催し改善点を話し合っている。</p> <p>【改善が求められる点】 家庭的な環境としてくつろげる空間を確保できるよう、今後、中学生以上には本人の意向を確認の上、出来る限り個室等プライベート空間の確保について検討されたい。</p>	
(5) 健康と安全	第三者 評価結果
① 発達段階に応じ、身体の健康（清潔、病気、事故等）について自己管理ができるよう支援している。	a
② 医療機関と連携して一人一人の子どもに対する心身の健康を管理するとともに、異常がある場合は適切に対応している。	a

(6) 性に関する教育	
① 子どもの年齢・発達段階に応じて、異性を尊重し思いやりの心を育てるよう、性についての正しい知識を得る機会を設けている。	b
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>【特に評価が高い点】</p> <p>幼児には検温、睡眠、食事摂取状況、排せつが記録されている。シーツの洗濯は月2回以上、夜尿児に対してはその都度シーツの洗濯やシャワーなどを実施している。入浴は冬場は1日おき、夏場は毎日であるが部活などの関係でシャワーなども随時できるようになっている。また、子どもが危険にあった場合、ヒヤリハット報告書を作成し、ミーティングで職員が共有し事故防止を図っている。</p> <p>【改善が求められる点】</p> <p>施設独自の性教育カリキュラムを作成することが望まれる。</p>	

(7) 自己領域の確保	第三者 評価結果
① でき得る限り他児との共有の物をなくし、個人所有とするようにしている。	b
② 成長の記録(アルバム)が整理され、成長の過程を振り返ることができるようにしている。	a
(8) 主体性、自律性を尊重した日常生活	
① 日常生活のあり方について、子ども自身が自分たちの問題として主体的に考えるよう支援している	a
② 主体的に余暇を過ごすことができるよう支援している。	b
③ 子どもの発達段階に応じて、金銭の管理や使い方など経済観念が身につくよう支援している。	a
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>【特に評価が高い点】</p> <p>個別に入所時より行事等で撮影した写真を個人のアルバムとして整理している。アルバムの管理は小学生以下の場合は職員が行っているが、時折、子どもたちと一緒に振りかえる。また、退所時には成長の記録として子どもたちに手渡している。</p> <p>【改善が求められる点】</p> <p>食事時のお茶碗、箸など子どもたちと相談しながら個別に対応することが望まれる。また、地域のスポーツ活動など参加の機会づくりを検討することが望まれる。</p>	

(9) 学習・進学支援、進路支援等	第三者 評価結果
① 学習環境の整備を行い、学力等に応じた学習支援を行っている。	a
② 「最善の利益」にかなった進路の自己決定ができるよう支援している。	a
③ 職場実習や職場体験等の機会を通して、社会経験の拡大に取り組んでいる。	a
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>【特に評価が高い点】</p> <p>個々人の居室に学習机を置くとともに、居室以外にも図書室、学習室などを用意している。学校の懇談会や授業参観にも職員が出席し学校との連絡を緊密にしている。また、中学生は希望に応じて通塾している。さらに、基礎学力の向上のため大学生ボランティアによる学習指導を受けている。その際、必要に応じて補助教材も購入している。</p>	

(10) 行動上の問題及び問題状況への対応	第三者 評価結果
① 子どもが暴力・不適応行動などの問題行動をとった場合に、行動上の問題及び問題状況に適切に対応している。	b
② 施設内で子ども間の暴力、いじめ、差別などが生じないように施設全体で取り組んでいる。	b
③ 虐待を受けた子ども等、保護者からの強引な引き取りの可能性がある場合、施設内で安全が確保されるよう努めている。	b

(11) 心理的ケア		
①	心理的ケアが必要な子どもに対して心理的な支援を行っている。	b
(特に評価が高い点、改善が求められる点) 【改善が求められる点】 虐待を受けた子ども等の保護者からの強引な引取りの可能性がある場合、緊急時の警察との協力体制づくりに向けて、日頃から継続した情報交換等の機会を早急に持つことが望ましい。		

(12) 養育の継続性とアフターケア		第三者 評価結果
①	措置変更又は受入れに当たり継続性に配慮した対応を行っている。	b
②	家庭引き取りに当たって、子どもが家庭で安定した生活を送ることができるよう家庭復帰後の支援を行っている。	a
③	できる限り公平な社会へのスタートが切れるように、措置継続や措置延長を積極的に利用して継続して支援している。	a
④	子どもが安定した社会生活を送ることができるよう退所後の支援に積極的に取り組んでいる。	b
(特に評価が高い点、改善が求められる点) 【特に評価が高い点】 卒園までの計画表を個々人について立案するとともに、本人だけでなく保護者も含めて支援にあたっている。 【改善が求められる点】 措置変更時に子どもたちに担当者や窓口等相談方法を明記した文書を渡すことが望まれる。また、気軽に退所者が交流できる場所や機会を設けることが望まれる。		

2 家族への支援

(1) 家族とのつながり		第三者 評価結果
①	児童相談所や家族の住む市町村と連携し、子どもと家族との関係調整を図ったり、家族からの相談に応じる体制づくりを行っている。	b
②	子どもと家族の関係づくりのために、面会、外出、一時帰宅などを積極的に行っている。	b
(2) 家族に対する支援		
①	親子関係の再構築等のために家族への支援に積極的に取り組んでいる。	a
(特に評価が高い点、改善が求められる点) 【特に評価が高い点】 親子の交流機会として、保護者への家庭訪問に子どもを同伴したり、保護者宅の近辺の子育て支援センターにおいて親子の交流を増やしたりするなど、家族への支援を行っている。 【改善が求められる点】 家庭支援専門相談員が家族の支援に取り組めるよう、独立した専門職として配置することが望まれる。また、ケース会議への保護者の参加等を含めた運営方法の改善が望まれる。		

3 自立支援計画、記録

(1) アセスメントの実施と自立支援計画の策定		第三者 評価結果
①	子どもの心身の状況や、生活状況を把握するため、手順を定めてアセスメントを行い、子どもの個々の課題を具体的に明示している。	b
②	アセスメントに基づいて子ども一人一人の自立支援計画を策定するための体制を確立し、実際に機能させている。	a
③	自立支援計画について、定期的実施状況の振り返りや評価と計画の見直しを行う手順を施設として定め、実施している。	a
(2) 子どもの養育・支援に関する適切な記録		
①	子ども一人一人の養育・支援の実施状況を適切に記録している。	b
②	子どもや保護者等に関する記録の管理について、規程を定めるなど管理体制を確立し、適切に管理を行っている。	b
③	子どもや保護者等の状況等に関する情報を職員が共有するための具体的な取組を行っている。	a

(特に評価が高い点、改善が求められる点)

【特に評価が高い点】

自立支援計画は年2回、評価と見直しが行われている。また、子どもの状況や意向を把握するために子ども自身が記入する「自分を見つめてみよう」を作成し、施設独自の工夫がなされている。

【改善が求められる点】

情報開示規程の整備及び職員に対する個人情報保護と情報開示に関する教育、研修を行うことが望ましい。

4 権利擁護

	第三者 評価結果
(1) 子どもの尊重と最善の利益の考慮	
① 子どもを尊重した養育・支援についての基本姿勢を明示し、施設内で共通の理解を持つための取組を行っている。	a
② 社会的養護が子どもの最善の利益を目指して行われることを職員が共通して理解し、日々の養育・支援において実践している。	a
③ 子どもの発達に応じて、子ども自身の出生や生い立ち、家族の状況について、子どもに適切に知らせている。	a
④ 子どものプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備し、職員に周知するための取組を行っている。	c
⑤ 子どもや保護者の思想や信教の自由を保障している。	a
(2) 子どもの意向への配慮	
① 子どもの意向を把握する具体的な仕組みを整備し、その結果を踏まえて、養育・支援の内容の改善に向けた取組を行っている。	b
② 職員と子どもが共生の意識を持ち、子どもの意向を尊重しながら生活全般について共に考え、生活改善に向けて積極的に取り組む。	b
(特に評価が高い点、改善が求められる点) 【特に評価が高い点】 行事としてお茶会等を開催して子どもとの交流を深めるとともに、子どもの状況や意向を把握するよう努めている。 【改善が求められる点】 子どものプライバシー保護に関する規程・マニュアルの整備を図ることが望まれる。また、子ども会や保護者会の整備も望まれる。	
(3) 入所時の説明等	第三者 評価結果
① 子どもや保護者等に対して、養育・支援の内容を正しく理解できるような工夫を行い、情報の提供を行っている。	a
② 入所時に、施設で定めた様式に基づき養育・支援の内容や施設での約束ごとについて子どもや保護者等にわかりやすく説明している。	b
③ 子どものそれまでの生活とのつながりを重視し、そこから分離されることに伴う不安を理解し受けとめ、不安の解消を図っている。	b
(4) 権利についての説明	
① 子どもに対し、権利について正しく理解できるよう、わかりやすく説明している。	b
(5) 子どもが意見や苦情を述べやすい環境	
① 子どもが相談したり意見を述べたりしたい時に相談方法や相談相手を選択できる環境を整備し、子どもに伝えるための取組を行っている。	b
② 苦情解決の仕組みを確立し、子どもや保護者等に周知する取組を行うとともに、苦情解決の仕組みを機能させている。	b
③ 子ども等からの意見や苦情等に対する対応マニュアルを整備し、迅速に対応している。	c
(6) 被措置児童等虐待対応	
① いかなる場合においても体罰や子どもの人格を辱めるような行為を行わないよう徹底している。	c
② 子どもに対する暴力、言葉による脅かし等の不適切なかかわりの防止と早期発見に取り組んでいる。	b
③ 被措置児童等虐待の届出・通告に対する対応を整備し、迅速かつ誠実に対応している。	b

(7) 他者の尊重	
① 様々な生活体験や多くの人たちとのふれあいを通して、他者への心づかいや他者の立場に配慮する心が育まれるよう支援している。	a
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>【特に評価が高い点】 入所時には権利ノート等を配付して子どもや保護者に分かりやすく説明し、質問等にも応じるとともに、施設内にも常設されている。</p> <p>【改善が求められる点】 入所の相談から施設での生活が始まるまで、子どもや保護者への対応についての手順を定めたマニュアル等の整備が望まれる。</p>	

5 事故防止と安全対策

	第三者 評価結果
① 事故、感染症の発生時など緊急時の子どもの安全確保のために、組織として体制を整備し、機能させている。	a
② 災害時に対する子どもの安全確保のための取組を行っている。	a
③ 子どもの安全を脅かす事例を組織として収集し、要因分析と対応策の検討を行い、子どもの安全確保のためにリスクを把握し対策を実施している。	c
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>【特に評価が高い点】 様々な災害や事故に対応したマニュアルを整備するとともに、児童引き渡しカードを作成して緊急時には学校から児童を円滑に引き受けられるよう工夫が図られている。</p> <p>【改善が求められる点】 組織が職員に求める教育・研修に関する基本姿勢等を明示するとともに、職員個々の援助技術の水準、知識、専門資格の必要性に基づく教育・研修計画を策定することが望まれる。また、研修後の業務等により研修成果を評価・分析し、次の研修につなぐことが望まれる。</p>	

6 関係機関連携・地域支援

(1) 関係機関等の連携	第三者 評価結果
① 施設の役割や機能を達成するために必要となる社会資源を明確にし、児童相談所など関係機関・団体の機能や連絡方法を体系的に明示し、その情報を職員間で共有している。	a
② 児童相談所等の関係機関等との連携を適切に行い、定期的な連携の機会を確保し、具体的な取組や事例検討を行っている。	a
③ 幼稚園、小・中学校、高等学校、特別支援学校など子どもが通う学校と連携を密にしている。	a
(2) 地域との交流	
① 子どもと地域との交流を大切にし、交流を広げるための地域への働きかけを行っている。	b
② 施設が有する機能を地域に開放・提供する取組を積極的に行っている。	b
③ ボランティア受入れに対する基本姿勢を明確にし、受入れについての体制を整備している。	c
(3) 地域支援	
① 地域の具体的な福祉ニーズを把握するための取組を積極的に行っている。	b
② 地域の福祉ニーズに基づき、施設の機能を活かして地域の子育てを支援する事業や活動を行っている。	b
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>【特に評価が高い点】 地域の福祉ニーズに基づきショートステイ、トワイライトステイの受入れ事業を実施している。</p> <p>【改善が求められる点】 地域との関わり方について基本的な考え方を文書化するとともに、活用できる社会資源や収集した地域の情報を掲示版等で子どもに提供することが望まれる。また、施設を支える後援会等を組織することも望まれる。</p>	

7 職員の資質向上

	第三者 評価結果
① 組織として職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	c
② 職員一人一人について、基本姿勢に沿った教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取組が行われている。	c
③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行い、次の研修計画に反映させている。	b
④ スーパービジョンの体制を確立し、施設全体として職員一人一人の援助技術の向上を支援している。	b
(特に評価が高い点、改善が求められる点) 【改善が求められる点】 組織が職員に求める教育・研修に関する基本姿勢等を明示するとともに、職員個々の援助技術の水準、知識、専門資格の必要性に基づく教育・研修計画を策定することが望まれる。また、研修後の業務等により研修成果を評価・分析し、次の研修につなぐことが望まれる。	

8 施設の運営

(1) 運営理念、基本方針の確立と周知	第三者 評価結果
① 法人や施設の運営理念を明文化し、法人と施設の使命や役割が反映されている。	b
② 法人や施設の運営理念に基づき、適切な内容の基本方針が明文化されている。	b
③ 運営理念や基本方針を職員に配布するとともに、十分な理解を促すための取組を行っている。	a
④ 運営理念や基本方針を子どもや保護者等に配布するとともに、十分な理解を促すための取組を行っている。	c
(2) 中・長期的なビジョンと計画の策定	
① 施設の運営理念や基本方針の実現に向けた施設の中・長期計画が策定されている。	c
② 各年度の事業計画は、中・長期計画の内容を反映して策定されている。	c
③ 事業計画を、職員等の参画のもとで策定されるとともに、実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われている。	c
④ 事業計画を職員に配布するとともに、十分な理解を促すための取組を行っている。	c
⑤ 事業計画を子ども等に配布するとともに、十分な理解を促すための取組を行っている。	c
(特に評価が高い点、改善が求められる点) 【改善が求められる点】 実施する養育・支援の内容や職員体制、人材育成等の現状分析を行い、課題や問題点を明らかにし、理念や施設が目指す養育・支援の実現に向けた中・長期計画を策定することが望まれる。	

(3) 施設長の責任とリーダーシップ	第三者 評価結果
① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して明らかにし、専門性に裏打ちされた信念と組織内での信頼をもとにリーダーシップを発揮している。	b
② 施設長自ら、遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行い、組織全体をリードしている。	b
③ 施設長は、養育・支援の質の向上に意欲を持ち、組織としての取組に十分な指導力を発揮している。	a
④ 施設長は、経営や業務の効率化と改善に向けた取組に十分な指導力を発揮している。	b

(4) 経営状況の把握		
①	施設運営をとりまく環境を的確に把握するための取組を行っている。	b
②	運営状況を分析して課題を発見するとともに、改善に向けた取組を行っている。	b
③	外部監査（外部の専門家による監査）を実施し、その結果に基づいた運営改善が実施されている。	c
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点) 【特に評価が高い点】 施設長は子どもの養育・支援の記録を日々確認し、現況を把握している。特に、発達障害児童への対応に関する職員研修を積極的に実施（受講）し、適切な支援の実施に努めている。</p> <p>【改善が求められる点】 施設長の役割と責任（平時、有事とも）について明文化するとともに、会議や研修において職員に表明することが望まれる。また、社会的養護の動向をはじめ、収集した保護を要する子どもに関する情報や養育・支援のニーズ等の中・長期および年度事業計画に反映し、計画的な取組がなされることが望まれる。</p>		

(5) 人事管理の体制整備		第三者 評価結果
①	施設が目標とする養育・支援の質を確保するため、必要な人材や人員体制に関する具体的なプランが確立しており、それに基づいた人事管理が実施されている。	b
②	客観的な基準に基づき、定期的な人事考課が行われている。	a
③	職員の就業状況や意向を定期的に把握し、必要があれば改善に取り組む仕組みが構築されている。	b
④	職員処遇の充実を図るため、福利厚生や健康を維持するための取組を積極的に行っている。	a
(6) 実習生の受入れ		
①	実習生の受入れと育成について、基本的な姿勢を明確にした体制を整備し、効果的なプログラムを用意する等積極的な取組をしている。	b
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点) 【特に評価が高い点】 客観的かつ公平な基準に基づく人事考課が実施され、1次評価（施設長）・2次評価（福祉事務所長）が行い、結果を職員個々にフィードバックしている。</p> <p>【改善が求められる点】 施設に必要な人材や人員体制の確保を明記した中・長期計画を策定して、人材確保に努められたい。また、実習生受入れに関する目的等を明文化し、職員間での共通理解を深めるとともに、施設特性を活かしつつ実習目的に配慮した効果的な多様な実習プログラムの検討が望まれる。</p>		

(7) 標準的な実施方法の確立		第三者 評価結果
①	養育・支援について標準的な実施方法を文書化し、職員が共通の認識を持って行っている。	b
②	標準的な実施方法について、定期的に検証し、必要な見直しを施設全体で実施できるよう仕組みを定め、検証・見直しを行っている。	c
(8) 評価と改善の取組		
①	施設運営や養育・支援の内容について、自己評価、第三者評価等、定期的に評価を行う体制を整備し、機能させている。	c
②	評価の結果を分析し、施設として取り組むべき課題を明確にし、改善策や改善実施計画を立て実施している。	c
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点) 【改善が求められる点】 標準的な実践方法に、子どものプライバシー保護の姿勢を明示するとともに、その検証・見直しの仕組みを定め、定期的な実施が望まれる。また、全ての職員が参画できる体制を整え、定期的な自己評価（年1回以上）、第三者評価（3年ごと）の継続的計画的な取組に期待する。</p>		